

令和2年3月2日

中学校3年生の保護者の皆様へ

瀬戸市教育委員会
教育長 横山 彰

令和元年度 中学校における卒業証書授与式について

本来であれば桜の待ち遠しい季節を、卒業の喜びとともにお迎えのことと思いますが、昨今の情勢を受けて、子どもたちならびに保護者の皆様に対しまして、大変厳しい状況となっていること、心より申し訳なく思っております。

さて先週末、本市の中学校における卒業証書授与式につきましては、卒業生と教職員のみで行うこととさせていただきましたが、保護者の方々から様々なご意見を、お電話やメールで頂戴いたしました。「卒業式の主役は子どもたちですが、保護者にとっても大切な節目です」とのメッセージもいただき、参加いただけないことにつきまして、私も胸を痛めております。

しかし卒業生の中には、直後に公立高校の受検を控えている者も多く、可能な限り感染リスクを抑えた状態で、安心して試験会場へ向かうことができるようにしてあげたいと思っております。義務教育9年間の学びで身につけた力を、存分に発揮できる環境を与えてあげることが、卒業生への最後の贈り物ではないかと考えます。

また、保護者の方の中には、お仕事に従事していらっしゃる方や、土日にやむなく出なければならなかったりした方も多いことでしょう。万が一、コロナウイルスに感染していた場合、卒業式会場が感染源となってお家族の方、とりわけ高齢な方々に感染が広がってしまい、不幸なことになってしまう事態は、どうしても避けなければなりません。

こうした理由から、後で取り返しのつかないことにならないよう、必要最小限である人数ということで、卒業証書授与式への参加を卒業生と教職員のみとさせていただきました。そんな中各学校では、保護者の方に何とか配慮できないかと様々な検討をしております。各学校で対応できる内容につきましては、状況が異なるため一律なものとはなりませんが、感染リスクを回避するための措置として、精一杯努めておりますので、ご理解とご協力をいただければと思います。

感染が抑制され、一刻も早く子どもたちや保護者の皆様にとって、安心して暮らせる日常が戻りますことをお祈り申し上げます。